



第69期 報告書

2015.3.1 ▶ 2016.2.29

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード 8016



代表取締役会長 廣内 武



代表取締役社長 保元 道宣

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの平成28年（2016年）熊本地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地が一日も早く復興することをお祈り申し上げます。

2016年2月29日をもちまして、第69期の事業年度を終了いたしました。ここに第69期報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

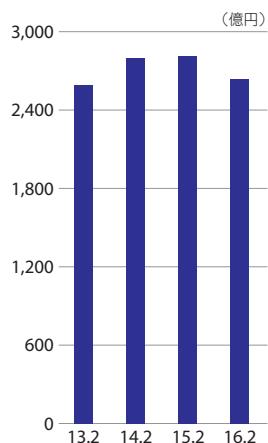
当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

また、次期連結会計年度より中期経営計画をスタートし、「提供価値の多様化」と「顧客基盤の拡大」を基本方針とした成長戦略を推進してまいります。

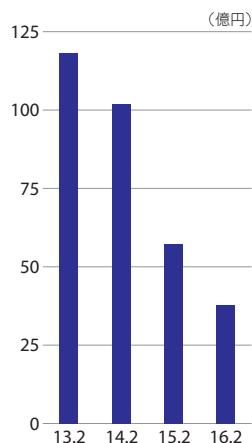
事業戦略といたしましては、Eコマースと店舗の強みを融合したオムニチャネル化を進めるとともに、特にアジア市場での拡大を見据えたグローバル化をはかってまいります。さらに、資本政策に基づく経営の効率化を進め、企業価値・株主価値の向上をめざしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

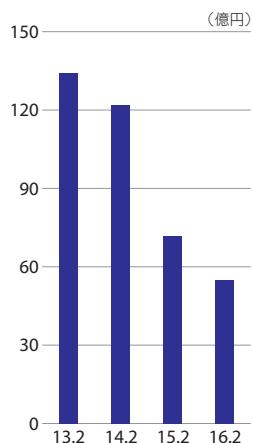
連結売上高



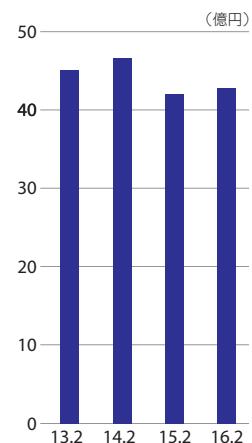
連結営業利益



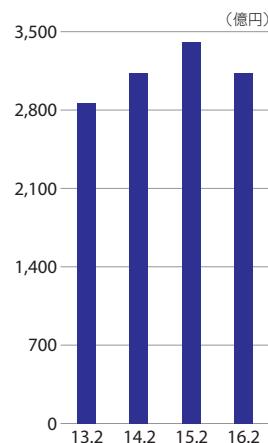
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産



(百万円)

	2013.2	2014.2	2015.2	2016.2
連結売上高	259,099	280,007	281,501	263,516
連結営業利益	11,818	10,200	5,731	3,778
連結経常利益	13,405	12,211	7,162	5,504
連結当期純利益	4,503	4,658	4,204	4,278
連結総資産	286,779	313,430	340,854	313,454
連結純資産	165,372	175,028	185,315	172,337
連結1株当たり当期純利益(円)	28.71	29.69	26.78	28.27

事業環境と業績全般について



「23区」

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。欧州、中東での地政学リスクや、中国をはじめとする海外経済の減速が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、高額品やインバウンド消費による下支えがあったものの、消費者の節約志向や慎重な購買行動に加えて、暖冬の影響により冬物衣料の売上が鈍化するなど、店頭の販売動向は総じて厳しい状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループは基幹事業および成長が見込める事業を強化するとともに、今後の成長に向けた新規ビジネスの開発を推進いたしました。

国内事業につきましては、主力ブランドのプロモーションの強化や、オンワードクローゼットと店頭の在庫情報を一元化するお客様視点でのオムニチャネル戦略を推進いたしました。前年の消費増税前の駆け込み需要の反動による3月の売上高の減少、また11月以降の暖冬が大きく影響し、厳しい業績となりました。

海外事業につきましては、欧州事業は収益改善の対応が遅れ、厳しい業績となりましたが、北米事業とアジア事業は収益の回復が進みました。

第69期(2016年2月期)連結業績実績

売上高	2,635億 16百万円	(前期比)	6.4%減
営業利益	37億 78百万円	(前期比)	34.1%減
経常利益	55億 4百万円	(前期比)	23.1%減
当期純利益	42億 78百万円	(前期比)	1.8%増

事業セグメント別の概況



「五大陸」

■アパレル関連事業

国内事業は、中核事業会社の株式会社オンワード樫山におきましては、Eコマース事業が計画通り好調に推移し、「ジョゼフ」「トッカ」などのグローバルブランドも引き続き堅調に推移いたしました。円安によるコスト上昇に加えて、百貨店等の主力流通の衣料品売上が苦戦し、減収減益となりました。

海外事業は、欧州事業は生産事業におきまして基盤拡大と安定的収益確保がはかれましたが、ブランド事業におきまして外的要因による需要の変化への対応が遅れ厳しい

業績となりました。北米事業とアジア事業は事業再編および店舗の整理等が進み、業績の改善がはかれました。

■アパレル関連事業

売上高	2,484億 67百万円	(前期比 6.0%減)
営業利益	55億 57百万円	(前期比 36.8%減)



「ペンデュール ヴィア バス ストップ」 ニュウマン新宿店

■その他の事業

サービス関連事業は、事業の選択と集中が進んだことなどから、減収ながら増益となりました。リゾート関連事業も堅調に推移した結果、減収ながら増益となりました。

■その他の事業

売上高	150億 48百万円 (前期比 12.5%減)
営業利益	6億 29百万円 (前期比 61.5%増)



オンワードビーチリゾートグアム



オンワードクリエイティブセンター

次期の見通し



「ジル・サンダー」

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、日銀の量的・質的金融緩和政策が継続している中、中国経済の減速など世界経済の先行きへの警戒感も強く、引続きデフレ脱却には時間を要することが予想されています。

また、当アパレル・ファッション業界につきましては、グローバル化や事業の選択と集中が進み、競争が激化する厳しい状況が続くと思われます。このような経営環境の中、

当社グループは基幹事業の商品価値向上や顧客サービスの拡充により安定的な収益の拡大をはかるとともに、成長が見込める分野に向けた新規ビジネスの開発を進めています。

国内事業は、株式会社オンワード樫山を中心に既存の基幹事業の収益率向上をはかる一方で、新規事業領域の拡大に取り組んでまいります。

海外事業は、欧州の生産基盤を活かしたグローバル化とアジアの戦略的な拡大を推進することにより当社グループの成長性を高めてまいります。



「ジョゼフ」デュークオブヨーク店

第70期(2017年2月期)連結業績予想

売上高	2,540億円 (前期比)	3.6%減
営業利益	45億円 (前期比)	19.1%増
経常利益	56億円 (前期比)	1.7%増
親会社株主に帰属する当期純利益	45億円 (前期比)	5.2%増



「シェアパーク」二子玉川ライズS.C.店

「オンワードベイパークビルディング」 2016年2月より業務スタート



海岸通りに面したオンワードベイパークビルディング

株式会社オンワード樫山は、2016年2月8日より、東京都港区の新社屋「オンワードベイパークビルディング」での業務をスタートいたしました。同ビルは、これまで分散していた企画、生産、スタッフ部門、東京地区販売部門等の事務所を統合した新たな中核オフィスとなります。

デザインコンセプトは、日本橋「オンワードパークビルディング」から続く「まとう」。季節や時間をまとう、自然をまとう、街をまとう。進化する伝統と個性をまとい重なり合うことで、新しい価値や生活文化を発信する企業イメージを表現しております。オフィスフロアは3階から6階に位置し、柱が少なく仕切りのないオープンスペースとなっております。また、木をふんだんに使ったステップテラスは東京湾に面しており、フロアを越えたコミュニティスペースとして活用することができます。

社員同士が自然に交流できる環境により、部署の垣根を越えたコミュニケーションを活性化させて「ファッションの未来を創造する」新たなアイデアやチャレンジを生み出してもらいます。



ステップテラス



商談スペースと
会議スペース



エントランスホール

新業態のグローバルストア「ONWARD J BRIDGE」 1号店をオープン



ジャパンプレミアムファッションを443.5㎡の空間で展開

株式会社オンワード・ジェイ・ブリッジは、2016年2月1日に新業態のグローバルストア「ONWARD J BRIDGE」を大丸心斎橋店南館（7階）にオープンいたしました。

「日本の美意識に基づいたファッションを発信する未来型免税ストア」をコンセプトとし、日本的価値観に共感する訪日外国人観光客にワンストップでショッピングを楽しんで頂けるように、細部までこだわりを込めたジャパンプレミアムファッションを提案いたします。日本製にこだわったオリジナルブランド「ONWARD J BRIDGE」「enter G」に加えて、オンワード檜山の基幹ブランド「23区」「組曲」「五大陸」「J.プレス」や独自にセレクトした複数の国内ブランドを展開いたします。春物から冬物まで幅広い商品ラインナップを取り揃え、広域からの観光客のニーズに対応いたします。

店内にはプロモーションスペースを設けて、シーズンごとにセレクトしたブランドの紹介や演出を行い、“ジャパノクオリティ”の魅力を訴求してまいります。また、年間を通じて四季折々の生け花で彩り、日本の美意識や季節の移り変わりを体感して頂くなど、様々な取り組みにより日本の生活文化を発信し、インバウンド市場におけるオンワードグループの認知度を高めてまいります。



レディスコーナー



キッズコーナー

オンワードホールディングス所属女子プロゴルファー 本年度もさらなる活躍に期待



オンワードホールディングス平成28年新年賀詞交歓会に参加した
菊地 絵理香選手（左）と成田 美寿々選手（右）

株式会社オンワードホールディングスは、若手実力派の女子プロゴルファー菊地 絵理香、成田 美寿々と所属契約を締結しており、オンワード樫山の主力ゴルフウェアブランド「23区ゴルフ」のウェア提供をはじめ、プロゴルフ競技活動を全面的にサポートしております。

成田 美寿々選手は、昨年「スタジオアリス女子オープン」
「サントリーレディスオープンゴルフトーナメント」で優勝し、
通算7勝目を挙げております。全米・全英オープンへの出場も
果たし、今後も期待がかかります。

菊地 絵理香選手は、2015年4月の「KKT杯バンテリンレディス
オープン」で、悲願のLPGAツアー初優勝を果たしました。前の週に
開催された「スタジオアリス女子オープン」では成田 美寿々選手が
優勝しており、2週連続でオンワードホールディングス所属選手の
優勝となりました。年間獲得賞金ランキングでも8位の好成績を
収め、飛躍のシーズンとなりました。本年度におきましても、
2016年4月に開催された「スタジオアリス女子オープン」で優勝し、
LPGAツアー通算2勝目を挙げ、さらなる活躍が期待されます。

実力と実績を兼ね備え、女子プロゴルフ界の次代を担う若手選手
として有望である選手との契約により、当社のゴルフウェアの
認知度を向上させるとともに、日本のプロゴルフ界の発展に
寄与してまいります。



2016年4月「スタジオアリス女子オープン」で
優勝した菊地 絵理香選手



環境経営への取り組み

環境活動を経営施策のひとつに掲げ、地球と人々の共生をめざしたチャレンジを続けております。

リサイクル毛布をベトナム社会主義共和国の生活困窮者、ネパール大地震の被災者へ寄贈



毛布寄贈の様子

株式会社オンワードホールディングスは、「オンワード・グリーン・キャンペーン」で回収した衣料から生産したリサイクル毛布4,000枚を、2015年10月から2016年4月にかけて、日本赤十字社の協力のもと、ベトナム社会主義共和国の生活困窮者に寄贈いたしました。また、2015年

4月に大規模な地震が発生したネパール連邦民主共和国の被災者にリサイクル毛布2,000枚を2016年2月に寄贈いたしました。

ベトナム社会主義共和国は、近年、市場経済化を進め積極的な国際経済への統合を掲げ、2007年には世界貿易機関(WTO)加盟を果たしました。

しかしながら、依然として農村部などにおける所得水準は低く、地方の少数民族を中心に貧困層が存在しており、急速な経済成長の負の側面として、環境汚染・破壊、地域間格差、保健医療・社会保障分野の体制未整備等の問題も顕在化しております。今回寄贈した毛布は、北部山岳地帯及び中部高原地帯を中心とした生活困窮者の生活環境向上のために活用されます。

ネパール連邦民主共和国は、2015年4月に首都カトマンズから北西約80キロメートル付近を震源としたマグニチュード7.8規模の地震が発生。死者8,700人以上、全壊50万戸以上の甚大な被害をもたらしました。今回寄贈した毛布は、同地震の被災者の生活環境向上のために活用していただく予定です。

連結貸借対照表

(百万円)

	前期 2015年2月28日現在	当期 2016年2月29日現在
資産の部		
流動資産	117,051	121,468
現金及び預金	31,122	29,407
受取手形及び売掛金	30,792	27,818
商品及び製品	37,322	36,162
原材料及び貯蔵品	4,959	5,276
仕掛品	1,580	1,331
繰延税金資産	4,065	4,704
その他の流動資産	8,132	17,603
貸倒引当金	△923	△835
固定資産	223,802	191,985
有形固定資産	109,658	106,695
建物及び構築物	28,520	31,520
機械装置及び運搬具	518	559
工具器具備品	5,910	6,091
土地	62,034	58,038
その他の有形固定資産	12,674	10,485
無形固定資産	34,055	23,436
ソフトウェア	911	5,770
のれん	26,568	15,652
その他の無形固定資産	6,575	2,014
投資その他の資産	80,088	61,853
投資有価証券	54,162	33,922
長期貸付金	2,294	2,276
長期前払費用	1,119	660
繰延税金資産	1,168	11,166
差入保証金	9,324	8,475
その他の投資	12,669	6,027
貸倒引当金	△648	△675
資産合計	340,854	313,454

(百万円)

	前期 2015年2月28日現在	当期 2016年2月29日現在
負債の部		
流動負債	109,619	106,109
支払手形及び買掛金	40,340	34,970
短期借入金	42,404	45,326
1年内返済予定長期借入金	3,249	3,828
未払金	4,372	2,878
未払費用	7,720	6,903
未払法人税等	3,178	5,911
未払消費税等	3,094	921
賞与引当金	1,154	1,001
役員賞与引当金	165	184
返品調整引当金	404	303
ポイント引当金	331	435
その他の流動負債	3,202	3,444
固定負債	45,919	35,006
長期借入金	20,978	16,026
再評価に係る繰延税金負債	3,209	2,818
退職給付に係る負債	4,126	4,180
役員退職金引当金	142	150
預り保証金	1,640	1,049
その他の固定負債	15,823	10,783
負債合計	155,539	141,116
純資産の部		
株主資本	179,879	176,263
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	122,589	114,181
自己株式	△22,832	△18,040
その他の包括利益累計額	3,410	△6,508
その他有価証券評価差額金	11,206	1,118
繰延ヘッジ損益	147	△302
土地再評価差額金	△13,871	△10,125
為替換算調整勘定	5,139	3,777
退職給付に係る調整累計額	788	△975
新株予約権	871	843
少数株主持分	1,153	1,738
純資産合計	185,315	172,337
負債及び純資産合計	340,854	313,454

連結損益計算書

(百万円)

	前期	当期
	2014年3月1日から 2015年2月28日まで	2015年3月1日から 2016年2月29日まで
売上高	281,501	263,516
売上原価	152,438	144,063
売上総利益	129,063	119,452
販売費及び一般管理費	123,332	115,674
営業利益	5,731	3,778
営業外収益	3,434	4,166
営業外費用	2,004	2,440
経常利益	7,162	5,504
特別利益	6,006	16,538
特別損失	3,773	14,912
税金等調整前当期純利益	9,395	7,130
法人税、住民税及び事業税	5,033	8,679
法人税等調整額	138	△5,811
少数株主損益調整前当期純利益	4,222	4,262
少数株主利益または少数株主損失(△)	18	△15
当期純利益	4,204	4,278

連結株主資本等変動計算書(2015年3月1日から2016年2月29日まで)

(百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額							新株 予約権	少数 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計				
当期首残高	30,079	50,043	122,589	△22,832	179,879	11,206	147	△13,871	5,139	788	3,410	871	1,153	185,315	
会計方針の変更による 累積的影響額			285		285									285	
会計方針の変更を反映 した当期首残高	30,079	50,043	122,874	△22,832	180,164	11,206	147	△13,871	5,139	788	3,410	871	1,153	185,600	
当期変動額															
剰余金の配当			△3,769		△3,769									△3,769	
当期純利益			4,278		4,278									4,278	
自己株式の取得				△2,293	△2,293									△2,293	
自己株式の処分			△82	127	44									44	
自己株式の消却			△6,959	6,959	—									—	
土地再評価差額金の取崩			△2,159		△2,159									△2,159	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△10,088	△450	3,745	△1,361	△1,763	△9,918	△27	584	△9,361	
当期変動額合計	—	—	△8,693	4,792	△3,900	△10,088	△450	3,745	△1,361	△1,763	△9,918	△27	584	△13,262	
当期末残高	30,079	50,043	114,181	△18,040	176,263	1,118	△302	△10,125	3,777	△975	△6,508	843	1,738	172,337	

会社の概要(2016年2月29日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粋持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	45名(連結従業員数:5,119名)
所在地	東京都中央区日本橋三丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード樺山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 株式会社クリエイティブヨーコ 株式会社アイランド* 株式会社オンワードグローバルファッション 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー オンワードラグジュアリーグループS.P.A. ジョゼフLTD. ジェイプレスINC. 恩瓦徳時尚貿易(中国)有限公司 オンワードビーチリゾートグアムINC.

取締役および監査役(2016年5月26日現在)

代表取締役会長	廣内 武
代表取締役社長	保元道宣
専務取締役	吉沢正明
取締役	馬場昭典
取締役	一瀬久幸
取締役	本庄八郎
取締役	中村嘉秀
常勤監査役	青山 仁
常勤監査役	飯塚賢一
監査役	矢部丈太郎
監査役	大橋一章

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、社外取締役です。
2. 監査役 矢部丈太郎、大橋一章の両氏は、社外監査役です。
3. 取締役 馬場昭典氏は、グループの中核事業会社である株式会社オンワード樺山の代表取締役社長執行役員を兼任しております。

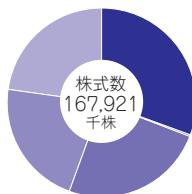
株式の状況(2016年2月29日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	167,921,669株
株主数	10,952名

(注)発行済株式の総数には、自己株式13,767千株が含まれております。

所有者別株式分布状況

金融機関	51,813千株	30.8%
証券会社	192	0.1
その他の法人	41,837	24.9
外国法人等	36,032	21.5
個人・その他	38,047	22.7



(注)個人・その他には、自己株式が含まれております。

大株主(上位10社)

株主名	持株数	持株比率
公益財団法人 櫻山奨学財団	8,710千株	5.6%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,186	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,102	3.9
株式会社三越伊勢丹	5,001	3.2
日本生命保険相互会社	4,671	3.0
BNYML-NON TREATY ACCOUNT	4,664	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,569	2.9
第一生命保険株式会社	4,200	2.7
オンワードホールディングス取引先持株会	4,149	2.6
株式会社丸井グループ	3,417	2.2

(注) 1. 当社は自己株式13,767千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2. 持株比率は、自己株式13,767千株を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所 市場第1部
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日	公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年5月中	公告掲載URL	http://www.onward-hd.co.jp/
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)		



当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-4512-1020



この報告書は環境に配慮した
植物油インキを使用しています。